

## ゾウの鼻 【Elephant Trunk】

[http://www.upali.ch/trunk\\_en.html](http://www.upali.ch/trunk_en.html)

### 人々は、ゾウの何に心を奪われるか（魅了されるか）？

ほとんどの人々は、ゾウの体の大きさにも、大きな耳のどちらにも魅了されていない。彼らが、とても心を奪われるものは、鼻である。大人やこどもに関係なく、全ての人々は、ゾウの鼻に魅了される（引きつけられる）。

大人とこどもが、ゾウと直接接触している際に、ほとんどの人が、同じく、ゾウの鼻が独立した生き物であるという印象を持つ。

### ゾウの鼻は、何から構成されているか？

ゾウの鼻は、鼻と上唇（うわくちびる）からできている。

アフリカゾウの鼻の先には、2つの「指状突起」があり、アジアゾウの鼻の先には1つの「指状突起」がある。けれども、アジアゾウは、アフリカゾウに劣らず器用である。しかし、彼らはときどき、少々違った方法で物を扱う\*1。



---

\*1 訳者注：アフリカゾウの鼻の先には、2つの指状突起があり（Differences between African and Asian elephants [[http://www.upali.ch/differences\\_en.html](http://www.upali.ch/differences_en.html)] の図を参照のこと）、リンゴを食べる時には、この2つの指状突起を指のように使ってリンゴを鼻先で持って口の中に放り込む。

ちなみに、ゾウは、急いで果物を食べる時には、鼻先で果物を持って、まさに口の中に投げ入れる。丸い果物は放り込まれた場合には、たいてい口の中に入るが、バナナのような長いものは、たまに口の中に入らず、下唇に当たって地面に落ちる（弘法も筆の誤り？）。もちろん、ゾウは、落ちたバナナをよく覚えていて、すぐに鼻で拾って食べる。

原著者が述べている『アジアゾウは、少々違った方法で物を扱う』とは、アジアゾウの鼻先には1つの指状突起しかないのです。大きなリンゴを鼻先だけで持つことが難しいが（小さなリンゴなら、鼻先から息を吸い込む吸引力で持つことができる）、彼らは、鼻で巻き取ってリンゴを口の中に入れるということである。すなわち、アジアゾウは、リンゴが置かれた地面に鼻を水平に置き、リンゴを鼻で巻いて拾って食べるができる。

ゾウの鼻 (Trunk) の一部分は、鼻 (Nose) で構成されているにもかかわらず、ゾウの鼻には、鼻骨あるいは他のどんな骨もない (哺乳類は鼻骨を有するが、ゾウには、それがない)。ゾウの鼻は、約 40,000 の筋組織から成りたっている。そして、その筋肉群は、鼻の管のまわりを取り巻いて組織されている。

## ゾウは、鼻で呼吸し、鼻で水を飲むか？

ゾウの鼻にもまた、呼吸するための 2 つの鼻孔がある。

しかし、ゾウは、さらに、鼻孔の中に最高 8 リットルの水を吸い上げることもできるし、それから、自分の口の中に、その水を吹き込むことができる。しかし、人々が時々、誤って考えていることとは異なり、ゾウは、自分の鼻に入れた水を直接、鼻から飲むことはない (必ず、口の中に鼻を入れて、鼻の中の水を口の中に放出して飲む)。自分の鼻に入れた水を直接、鼻から飲むと、ゾウもヒト同様に咳嗽反射を起こすだろう。

若いゾウは、直接、自分の口で母親のミルクを飲む (鼻を使わずに、乳首に口で吸いつく)。



## 生まれたばかりの子ゾウの鼻は、どんな格好か？

ゾウの鼻の複雑な仕組みに関して、生まれたばかりの子ゾウが、この多くの機能を有する器官 (鼻) を使う方法を最初に学ばなければならないということは、驚くべきことではない (ゾウの新生児といえども、最初は、長い鼻の使い方を知らないのは当然である)。生まれたばかりの子ゾウは、偶然にも、自分の鼻を自分で踏みつけてしまい、何かに挟まって動けなくなったブタのような悲鳴をあげる。子ゾウは、どこからその痛みが起きているのか？ そして、どうやったら、その痛みがなくなるのか？ が解らない。



このことが、誕生直後のゾウでは、鼻がまだ相対的に短く、(体の成長より) ほんの数

日遅れて伸び始める理由である。

## ゾウの鼻は、何のために必要か？

ゾウは、彼らのエサを口に入れられる大きさにするために（エサを調理するために）、また、エサを拾ったり、物を持ち上げたりする際に、手として鼻を使う・・・もちろん、嗅覚器官としても。

さらに、ゾウの鼻は、ゾウの機嫌（気分）を示す指標としての役目を果たす。ゾウは、自分の鼻で他のゾウを払いのけることができるし、他のゾウを（訳者注：人間を含めた敵を）叩いたり、突っ込んだりする（押しつける）武器として鼻を使うことができる。

ゾウは、その鼻で同類たち（同種のゾウ）や環境の臭いを嗅ぐ。そして、ゾウの鼻は、コミュニケーションための重要な手段である。